

いただいた御意見の要旨と御意見に対する本市の考え方

「まちづくりの基本理念上京新時代～文化と絆で未来を創る！」について

A 計画（案）に反映，検討の参考とする御意見（5件）

御意見の要旨	御意見に関する考え方
<p>【元学区の説明：2件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元学区という言葉を知らない人が多そう。注釈をいれるとよいと考えた。 ・元学区という表現が分かりにくい。 	<p>いただいた御意見の趣旨を踏まえ、「元学区」を「学区」に修正し、本冊に注釈を記載します。</p> <p>※上京区内には「学区（元学区）」と呼ばれる地域活動単位があり、<u>室町時代の自治組織である「町組」や明治時代に誕生した日本初の公立小学校である「番組小学校」の歴史を受け継いでいる。小学校の統廃合により現在の通学区とは一致しないが、多くの地域活動が今もこの「学区（元学区）」単位で、防犯、防災から子育てや福祉に至るまで多様な活動が行われている。</u></p>
<p>【基本理念の文言：2件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子ども，若者からお年寄りまで」を「男性も女性も，子どもも若者もお年寄りも」又は「子どもからお年寄りまで，男性も女性も」に。 ・子供から高齢者まで「誰1人取り残さない」基本方針が素晴らしいと考えた。ただ，外国籍の人に関する記述が無かったため，追加した方がよいのではないだろうか。 	<p>いただいた御意見の趣旨を踏まえ、「まちづくりの基本理念」中の表現を以下のとおり修正します。</p> <p>「…子ども，若者からお年寄りまで，すべての区民が…」 (修正後)</p> <p>「…年齢，性別，国籍，障害の有無等に関わらず，すべての区民が…」</p>
<p>【基本理念の文言：1件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「すべての区民が主人公となって活躍できる」の活躍という表現を，ハンディのある人も含めて「心豊かに生きられる」等に修正して欲しい。 	<p>いただいた御意見の趣旨を踏まえ、「まちづくりの基本理念」中の表現を以下のとおり修正します。</p> <p>「すべての区民が主人公となって活躍できる」 (修正後)</p> <p>「すべての区民が主人公となって心豊かに暮らせる」</p>

B 計画（案）に賛同、趣旨が反映されている御意見（93件）

御意見の要旨	御意見に関する考え方
<p>【誰一人取り残さない，SDGs：17件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上京区が掲げる「誰一人取り残さない」持続可能なまちづくりは、歴史ある京都の町全体に必要な政策であると思います。 ・子ども、若者からお年寄りまで、すべての区民が主人公となって活躍できる、「誰一人取り残さない」持続可能な上京区の未来の創造を目指すという姿勢に感銘を受けた。 ・SDGsの標語にあわせた、『誰一人取り残さない』持続可能な上京区の未来』という言葉に強い覚悟が込められていると思いました。 ・新たなまちづくりをスタートする上で「誰一人取り残さない」というモットーには非常に納得できる。 ・上京区の強みは、自然環境や伝統的な文化、地域間の確固たる絆が現代でも残っていることだと思う。その強みは「誰一人取り残さない」という上京区のまちづくりに十分活かせると考える。 ・基本理念である「誰一人取り残さない」という考え方はまちづくりにおいて重要な部分であると感じた。 ・「誰一人取り残さない」まちづくりを進めていくことは未来だけでなく、今を生きる人々にとっても安定した生活を手に入れることに繋がるのではないかと思った。 ・SDGsというものが唱えられて以降、持続可能な地域社会が求められている。地域からのアプローチは地球規模な壮大な話ではなく、私たち市民一人一人につながった課題であると考えます。 ・特に学生が多い町で地方からの学生も多い。いろいろな価値観を持っている人が多い中で、皆が過ごしやすい街にすべく、「誰一人取り残さない」街にするというのは非常に良いと考えた。 ・「誰一人取り残さない」この言葉に少し安心感がみなぎりました。上京区に暮らしていても、まちのことは他人事として捉えてしまっている人がほとんどだと思います。取り残さないといった言葉から自分も上京区民の一員なのだ、一員として見てもらっているのだと改めて気づかされる強くて良い心得だと思いました。 ・上京区の文化を尊重しつつ、社会変動に臨機応変に対応する、「誰一人取り残さない」という理念に共感しました。 ・新しい時代に合わせた「誰一人取り残さない」持続可能なまちづくりを実現させるためには、この上京区の強みを大々的に掲げ、それを区民一人一人が理解し、協力していく必要があると考える。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>「誰一人取り残さない，SDGs」の理念について賛同、評価する御意見を数多くいただきました。</p>

<p>【文化と絆：16件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な行政課題を、そこに暮らす区民と共に考え、上京区の誇る文化と絆で新しい未来に向けた具体的な計画をこの理念に込めているので大変よい文章である。 ・上京区が誇る多様な文化と絆を基にまちづくりを進める方針に大変感心した。 ・伝統と歴史をしっかりと守りながらも未来についても具体的な考えがまとめられておりよいと感じた。 ・西陣織や様々な文化が暮らしの中に息づいている上京区の強みである文化と絆を基に、時代に沿った改革や挑戦を進めていくという理念は、築き上げてきた文化や歴史に満足するのではなくよりよい街を創るという点でとても共感しました。 ・上京区にある大学の学生として、私が感じる上京区の魅力は区民の暮らしに文化や伝統が息づいている点です。 ・まさに「京都」のコアである上京の矜持として、生活も包含した幅広い「文化」と様々な年代構成や区内外との連携協働による「絆」を埋め込んでいるのは良好。 ・上京区の魅力かつ強みでもある自然環境と調和した生活様式や多彩な文化、元学区に代表される強固な地域の絆によって育まれてきた、しなやかな復元力というものを大事にしながら、将来を担っていく子どもたちや若者、さらには今後ますます増加していくことが予測される高齢者にとっても暮らしやすい未来を創っていけないかと思いました。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>文化と絆を土台にまちづくりを進める基本理念について賛同、評価する御意見を数多くいただきました。</p>
<p>【大学生、若者の力：10件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者から高齢者まで全ての世代の協力のもと、これまで受け継がれてきた文化を未来へつないでいくという指針は重要であると考えます。また、様々な地域から若者が集まってくる学生のまちでもあるため、彼らの住みやすいまちとなるようにまちづくりを進めて欲しい。 ・学生のまちであり、若者が多いこの町では、SDGsなど、現代の様々な問題を解決する上で中心的な役割を担う必要があると感じた。 ・関係人口という観点から、同志社大学や同志社大学の学生や卒業生と連携、協力する事業や取組をもっと増やしてほしい。 ・上京区には、さまざまな歴史史跡や地域の強固なつながりがあり、これらを活かして地域の活性化を図ることは可能である。また学生の人口が多いことも特徴であり、若い力を活かしたまちづくりができることも魅力のひとつである。 ・上京区には多くの大学生などを含む若者世代からお年寄りの世代まで幅広い年代の人が住んでいるので、よりすべての区民が主人公となって活 	<p>大学生、若者の力を活かしたまちづくりについて賛同、評価する御意見を数多くいただきました。</p>

<p>躍できるということが必要になってくると考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上京区には多くの同志社生が住んでいるので、区としての地域交流を企画し、上京区を盛り上げるべきであると考えている。 <p style="text-align: right;">など</p>	
<p>【直面する危機、課題の克服：12件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これから起こる試練とも戦える強い上京区を全区民でつくる必要があると思う。 ・これから起こるであろう様々な危機に対応出来る上京区をつくるため、区役所を中心に区民や京都市が強力に連携しながらまちづくりを進める必要がある。 ・社会が大きく変革を迎える、そのような時代に行われる新たなまちづくりであるからこそより意義があるものになると考えられるので、区には公民一体となって持続可能な上京区の創造を十分に成し遂げてほしいと思った。 ・上京区の自然環境や現在までの生活様式を復元しつつ発展してきた力を発揮して、現代社会ならではの課題を解決していくことが必要だと思います。 ・基本理念の達成のため、あらゆる主体と連携し、取り組んでほしい。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>現在直面する「危機や課題」を乗り越えてより良いまちづくりを進めるべきとの御意見を数多くいただきました。</p>
<p>【世代を超えた交流：9件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地藏盆は子供だけでなく地域の大人が関わることのできる場でもあるので、これからも守ってほしい。 ・京都市の上京区は新規で引っ越してくる世帯が少ないため、全世代を取り込んだ政策というものは必ず必要不可欠であるように感じられた。 ・昔から学区のつながりによってまちづくりの発展をしてきたようですが、少子高齢化によって各学区内の子どもの数が減ってきていることが考えられるなか、学区や文化だけでなく地域の新しいつながりが必要になると感じました。 ・近年、日本各地において高齢者と若者の関わりといった世代間交流がなくなってきている。地域のつながりを強化させようという「誰一人取り残さない」を目標にした理念は上記の問題を解決することになるであろうと考える。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>世代を超えた交流の重要性について賛同、評価する御意見をいただきました。</p>
<p>【上京新時代：6件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都ならではの文化そして人々間の絆を生かしてすべての人々が生活できるような上京区の創造を「上京新時代」と表現した点が良かった。 ・上京新時代という理念のタイトルがとても良いと思う。 ・素敵な理念だと感じました。少しでもこれが実現できれば良いと思う。 	<p>基本理念のフレーズ「上京新時代」について賛同、評価する御意見をいただきました。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・基本理念に掲げられている新たなまちづくりをスタートさせるという文言がとても良いと思う。京都市などとしっかりと連携しながら、今までにない強い覚悟で上京区のポテンシャルを最大限引き出す必要がある。 など 	
<p>【コロナ禍：9件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の今、新たなまちづくりの基本理念にとってもいいと思いました。 ・これまでの課題解決の経験を活かし、新型コロナウイルスの流行に対しても前向きに乗り越えていこうとする気持ちが表れていて良いと思った。 ・新型コロナウイルスの流行により世代間対立が深まる中で、高齢者から若者までが手を取り合って支え合うという方針には共感したし、同意である。 ・上京区の文化を尊重しつつ新型コロナウイルスなどによって変わりゆく世の中に柔軟に対応する、誰一人取り残さないという考え方にとっても共感する。 など 	<p>コロナ禍の中で、前向きに挑戦しようとする姿勢に賛同、評価する御意見をいただきました。</p>
<p>【4つの切り口：5件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4つの多角的な視点から街づくりを考えることで、上京区が抱える課題や現状が掴みやすくていいと思った。 ・上京区における課題がどのようなものなのかを4つの視点で見ること、それに対する解決策としての基本理念がよく理解しやすかった。 ・4つの切り口から街づくりを考える点は、今発生している様々な問題について取り残すことなく考えることが出来、市民にも分かりやすく伝えられるため良いと思う。 など 	<p>4つの切り口について評価する御意見を踏まえ、計画策定を進めます。</p>
<p>【簡潔、わかりやすさ等：6件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な上京区の未来の創造に向けて現在どのような問題があるのか知ることができ、簡潔にまとめられていたのでまちづくりの基本理念が理解しやすかった。 ・上京区の強みである伝統文化と地域コミュニティをベースに自然環境の視点も加えたものとなっており、わかりやすいと思います。 ・上京区が今どのような問題を抱えていてどのような解決策を講じているのかが一目で分かるように記載してあったので大変見やすかった。 ・これから目指すまちづくりについて目標が簡潔に設定されており、問題点も記載されていたため状況の把握がしやすかった。 ・上京区をより活性化させるため、人口減少や財政悪化などの状況、区の弱点を明示し、それらを改善していくということが明示されている 	<p>わかりやすい、見やすいとの御意見等を踏まえ、簡潔でわかりやすい計画策定に努めます。</p>

<p>ので、目指すべき目標が明確に分かった。</p> <p style="text-align: right;">など</p>	
<p>【かみぎゅうくん：3件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所が作ったものだとは思えないくらい、読みやすい内容のものだった。かみぎゅうくんを上手に活用できていると思う。 ・イラストが用いられていることで、堅苦しくない印象を持つことができた。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>かみぎゅうくんやイラストを活用して、分かりやすく、親しみやすい計画策定に努めます。</p>

C 今後の計画推進の際に参考とする御意見等（15件）

御意見の要旨	御意見に関する考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に目標を1つでも2つでも記載して下さい。 ・具体案に対して、どのようにそれを実現させるのかというスキームが不明瞭。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>4つの将来像ごとに重点的に取り組むリーディングプロジェクトを設定し、具体的に計画を進めます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・風情のある町屋など、素晴らしい街の景観を生かしたイベントや交流活動はすごく良いと思う。 ・区民等が上京区（まちなみや産業他）の魅力について、守りたい伝統の部分や時代の変化により形を変えてでも伝統技術等を継承するための提案を発信できる場があればよい。 ・上京区はものづくり、芸術、文化のまちです。京町家をはじめとする寺社仏閣の景観を守りたいです。町家でもお寺でもなくても、新たにお家を立てるとき、マンションを建てる時の景観については、ぜひ伝統の技法や暮らしを取り入れていただきたいです。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>伝統や景観についての御意見を参考に計画推進に努めます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「地域ブランドの発信」という言葉が非常に魅力的に感じた。現在はSNSが普及しているため、ブランドの発信ツールとしては有用である。 ・文化的、歴史的な特性を守りつつ、それを支えさらに新時代にも対応したまちづくりとして、AIなど情報技術を活用して利便性と連携を求めていくべきだと思います。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>SNSやAIの活用についての御意見を参考に計画推進に努めます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・観光地のバリアフリーを進めてほしい。また観光地付近で観光客などが物を消費するような仕組みをつくるべき。 ・子育て世代の減少を食い止めるためにも、住みやすい上京にして欲しい。民泊がどんどん増え、地価も上がり、住みにくい。民泊は一定の軒数で押さえて欲しい。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>いただいた御意見の趣旨も参考に計画推進に努めます。</p>

D 市政運営等の参考とする御意見，その他（24件）

御意見の要旨

- ・上京区には，誰でも気軽に使える会館等がどんどんなくなり，集まれる場所がなくなりました。そんな小型の会館を作ってください。
- ・「文化と絆で未来を創る」とありますが，上京には他の行政区にある会館，貸会場（大会場）がありません。是非，文化の発表の場が必要です。エンゼルハウス，元西陣小学校跡地の活用を。
- ・上京区には，他の行政区にある安くてかりられる集会場がありませんのにエンゼルハウス等の施設がなくなり大変に困っています。今ある建物など使用できるようにしてください。すぐに0歳からお年寄りが使用できる所，ガス，水道があってハイハイができ，小さいイス，テーブルがあるものを作ってください。
- ・学区制小学校区の先駆けとなった上京区が西陣織などを教育に取り入れることで現在も教育に力を入れていることが理解できた。
- ・学生街が多いこともあって，人口減少，高齢者の増加が起きているとは思わなくて驚いた。
- ・現在，地域コミュニティの衰退が進んでいる地域が多いが，上京区ではまだ学区制度での地域コミュニティはきちんと残っているのか？

など

将来像1「幸せを分かち合うまち」について

A 計画（案）に反映，検討の参考とする御意見（3件）

御意見の要旨	御意見に関する考え方
<p>【ゴミに関する記述：1件】</p> <ul style="list-style-type: none"> 方針3「ゴミの分別，削減，リサイクル」を「ゴミの削減，分別，リサイクル」に。 <p>理由：「ゴミを出さない暮らし」にとって必要なのは，まず2R（リデュース，リユース），その次に分別，リサイクル，そしてリニューアブルの順と思う。</p>	<p>いただいた御意見の趣旨を踏まえ，以下のとおり修正します。</p> <p><u>2R〔リデュース（ごみの発生抑制，リユース（再使用））及び分別，リサイクル</u></p>
<p>【取組の追加：1件】</p> <ul style="list-style-type: none"> 方針3の中に，てんぷら油，ごみにかける網等を記入できないか。 	<p>いただいた御意見の趣旨を踏まえ，文言を追記します。</p> <p><u>取組例「使用済てんぷら油の回収や古紙のコミュニティ回収など，区民と行政の協働によるリサイクルの推進」</u></p>
<p>【読みやすさ：1件】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字ばかりのページだったので，少し読みにくさを感じた。重要なポイントは文字の色を変えるなど，メリハリをつければより良いものとなると思う。 	<p>いただいた御意見の趣旨を踏まえ，できる限りわかりやすいデザインや工夫を検討します。</p>

B 計画（案）に賛同，趣旨が反映されている御意見（94件）

御意見の要旨	御意見に関する考え方
<p>【近助のまちづくり：25件】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近年核家族化が進み，更に近所づきあいが減少している中「近助」の関係があるのはとても素敵だなと感じました。 このコロナ禍においてこの「近助」はより大切にされるべき活動だと思った。 上京区らしい生活文化と人々の顔の見える人間関係を「近助」と表現しているのはすばらしい。 幸せを分かち合う街として一番「近助」が大切だと感じる。学生の一人暮らしが多い上京区では特にこの取組に力を入れるべきだと考えます。 「近助」がとてもいい言葉だと思ったのもっと広まって欲しい。 近隣同士の顔が見えるまちづくりの点が良いと感じた。 「近助」の理念は共助のなかでも重要で，かつわかりやすい理念だと感じました。学生が多い上京区では若者もこの理念を共有し，支え合いの一 	<p>「近助」を大切にするまちづくりについて賛同，評価する御意見を数多くいただきました。</p>

<p>員となることが大切だと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「近助」の関係が素敵だと思った。私は近所に住んでいる人の顔を見たことがないので、近所同士でコミュニケーションを取れる関係性は良いと思う。こういう関係性を築き上げることで、社会の課題である高齢者の孤独死などを減らせるのではないかと考える。 ・協働して取り組む最初のパートナーはお隣さんだと、身体的に示したことが評価できます ・私も、「近助」の強化は「共助」としての地域力を強めることに繋がると考える。 ・少子高齢化が進むなか福祉の面で「近助」を活性化し地域で支え合う気持ちが大切だと思います。 ・コロナ禍において対面での交流が困難になっている。その中での、今後の地域の絆の深め方や地域コミュニティの活性化の方法を改めて考え直す必要があるのではないかと考えた。 <p style="text-align: right;">など</p>	
<p>【文化を大切にすまちづくり：16件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上京区の宝である豊かな文化を継承し、更に磨きをかけることで、人々の生活の質とまちの豊かさの向上につなげる、という表記がとても良いと思いました。 ・文化を大切にすまちづくりは、これからも維持発展させてほしいです。 ・上京区では、歴史的文化財の数が京都府の中で最も多い市であり、「文化を大切にすまちづくり」についてとても良いと思いました。また、具体的な取組について伝統文化や芸能に親しむ機会づくりをしていると知り、こういった情報をもっとアピールするべきだと思いました。 ・風情のある京町家や路地が数多く存在し、着物姿がよく似合うという上京区の特徴を生かして、文化を継承し、更に磨きをかけることで、人々の生活の質とまちの豊かさの向上を目指すというのは、とても素敵な策であると感じる。伝統文化や芸能に親しみ、和装を気軽に楽しむ機会を作るのは、とても面白そうだと感じた。 ・上京区が誇る伝統的な文化の継承により、豊かなまちづくりを目指すという取組は、地域ならではの特性を生かした素晴らしいものであると考える。 ・文化を上京の強みとして推し出していくのは、街並みという面から見て、観光にはとても有意義であると思う。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>「文化」を大切にすまちづくりについて賛同、評価する御意見を数多くいただきました。</p>
<p>【環境共生のまちづくり：13件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鴨川や御所などの自然豊かな環境がある上京区だからこそ、そのような環境と地域住民の共生が大切であると感じるため、自然と共生するまち 	<p>環境共生のまちづくりについて賛同、評価する御意見を数多くいただきました。</p>

<p>づくりとして様々な取組がなされていて良いと思った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化と人々、環境を大切にすまちづくりの具体案や上京区の生産年齢人口をデジタル化し誰が読んでも分かりやすいものだった。環境問題を考え、日々わたしたちもマイボトル、マイバッグを持ち、ゴミの分別などまずは簡単なことから意識して生活してみようと思った。 ・特に方針3の「人にも環境にも配慮した環境共生と脱炭素のまちづくり」に関心を持った。当然、受け継がれてきた伝統文化などを守ることは重要ではある。しかし、そこに重きを置き、人や環境について考えず悪影響を及ぼしてしまえば、良いまちとは呼べないと感じ、疎かにしてはいけないと感じた。 ・打ち水の推進を区役所先頭に行うべき。 ・脱炭素社会に向け、区役所の再生可能エネルギー拡大も図ってほしい。 ・京都御苑とも連携し、生物多様性の保全や緑空間を守る取組を進めてほしい。 ・環境負荷の少ないまちづくりを京都市などと連携し、進めてほしい。 ・強みであり、大事にすべき点でもある文化と絆を維持、支援していく活動と今後持続可能なまちを作るうえで欠かせない環境共生を組み合わせている点が共感しました。世界はプラスチック廃止の流れになっていると思うので脱炭素のまちづくりは世界の標準にあっていてグローバルな視点もあっていいと思う。 <p style="text-align: right;">など</p>	
<p>【和装を楽しむまちづくり：8件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着物を着る機会や、区民が伝統文化を体験する機会をもっと増やしてほしい。 ・他の地域と異なり、和装をしても馴染む環境であるため、和装を楽しむ機会づくりはぜひ取り組んでほしい。 ・和装を気軽に楽しむ機会づくりとして、大学の入学式や卒業式の時期に生協を通じてレンタルできる仕組みなどがあれば、大学生は式典時により気軽に和装をすることができると考える。 ・和装が似合う街、上京を進めるべきです。キモノでのお出掛けが定着すると上京（西陣）が元気になる。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>「和装」を楽しむ機会づくりについて賛同、評価する御意見をいただきました。</p>
<p>【幸せを分かち合うまちづくり：8件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幸せを感じられるまちづくりを上京区から京都市に広げて欲しい。 ・「幸せ」を定義していないところが良い。 ・定住している人同士の関わり合いやつながりは非常に強く、過ごしやすいまちであると思うので、学生や外国人なども幸せを分かち合えるコミュニティになればもっと良いと思う。 	<p>幸せを分かち合うまちづくりについて賛同、評価する御意見をいただきました。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・幸せを分かち合う町とは、全ての人が自分の町を愛し、そして周りの人々を愛し、愛されという関係が出来ている町であると言い換えることができるはずだ。地域の強い繋がりを持つ上京区は、十分に幸せを分かち合う町であると思われ、これからもさらに幸せな町となっていくと思われている。 ・暮らしの中に人や地域とのつながりを感じられるような場面が増えれば、幸せの分かち合いがより実感できると思う。 <p style="text-align: right;">など</p>	
<p>【大学生と地域の交流：9件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者や京都に暮らし始めてまだ数年の方に伝統に親しむことのメリットを伝えていくべきだと思います。 ・文化、コミュニティ、環境への方針には共感します。ただ、住んでいた経験のある一住民の過去の体験として、なかなか学生は文化やコミュニティに関わるきっかけがなく、結果的に三年間触れることなく過ごしてしまったので、新しく入ってきた学生や若者も参加しやすいものであると嬉しいです。 ・京都ほどの日本文化と歴史のあるまちに住み、ほんまもんの文化に日々触れるのは京都ならではないと思います。外からの観光客だけではなく区民へ向けた文化の発信で学生がまちを離れることの解決策の一つになりそうですね。 ・上京区での雇用を増やすことで同志社生だけでなく、多くの京都に住む学生が上京区に移住するきっかけとなり、若い層が増えることによって街としても活気づき、よりたくさんの方が訪れることが見込める。 ・例えば、上京区在住の大学生が高齢者とマッチングし買い物代行サービスなどを行えば、高齢者は学生によって買い物の手間が省けるし逆に学生は高齢者から賃金を得ることが出来て人と人の繋がりができるウィン、ウインの関係になるのではないかと。 ・新しく上京区に移り住んできた学生などをターゲットにオンラインでの交流会や、サポートをできるシステムを作るのはどうだろうか。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>大学生と地域の交流について賛同、評価する御意見をいただきました。</p>
<p>【文化庁との連携：7件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化庁との連携を強め、文化力の更なる向上や発信をしてほしい。 ・文化庁の京都移転の推進活動の強化。古来日本文化の街を全国的にアピール。上京の名を全国に ・文化庁の移転を機に、京都の文化発信をまずは日本人に共有するような活動がもっと生まれれば良いなと思った。 ・文化に関する取組のうち、地域住民、区、文化庁が力を合わせて京都を訪れる人々が日本や京都の様々な文化に触れることができる機会を設 	<p>文化庁との連携について賛同、評価する御意見をいただきました。</p>

<p>けることは、このような人々に日本そして京都にいることの幸福を感じさせることに繋がると考える。</p> <p style="text-align: right;">など</p>	
<p>【ICTの活用：4件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化を継承し、まちづくりを多様な絆で支えるならば、より世代間交流や住人同士の直接的な対話が必要不可欠であると思うが、コロナ禍で人と人との接触がはばかれる時代においては、やはり ICT を活用した取組が必要であると感じる。ICT 技術の利用は記載されていたが、より本格的に進めていかなければならない取組ではないかと思う。 ・ICT 技術を活用したコミュニケーション手段の拡充はいいアイデアであると思うが、お年寄りの方には使い方を教えるなどの補助がないと、若者だけのコミュニティになってしまうと思う。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>ICTの活用について賛同、評価する御意見をいただきました。</p>
<p>【多様な絆：4件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国籍や年代を超えて、絆を作るという考えに惹かれた。 ・近年、上京区の地域活動への参加者は減少傾向にある。したがって、国籍や世代を気にせず関わるのが上京区には必要だ。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>国籍や世代を超えた多様な軸について賛同、評価する御意見をいただきました。</p>

C 今後の計画推進の際に参考とする御意見等（10件）

御意見の要旨	御意見に関する考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化を守っていくために文化の継承や発展を SNS 等を活用して広めて欲しい。 ・文化は、資源は多いためしっかりと観光発展につなげるべく、他の区や市と連携しつつ上京区ならではの魅力をわかりやすく、流行にあった媒体などを用いて伝えていくべきだと思います。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>SNS 等の活用についての御意見を参考に計画推進に努めます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が多いのと同時に若者も多い街であるため、今住んでいる彼らにもより充実し安心して暮らせるような政策も考えてほしい。 ・活力のある地域コミュニティを作るには若い世代がつながることが不可欠である。しかし、若者にはそういったつながりが面倒であると感じる人も多い。若者を惹きつけるための案を模索したい。また、下宿生などの新しく京都に住むようになった人が、馴染みやすい地域コミュニティにすることも重要であると思う。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>若者世代が住みやすいまちづくりについての御意見を参考に計画推進に努めます。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・北野天満宮と連携し、文化や西陣の魅力発信をしてほしい ・北野天満宮の更なる魅力発信をするべき。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>いただいた御意見の趣旨も参考に計画推進に努めます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・商店街の活用について。空き店舗を活用して、学区の境界なく「いつも空いていて誰かいる」拠点があれば良いと思います。商店街は元々、商店主が駐在し、買い物客が行き交う風景があります。つまり、常に地域の大人の存在と目があります。その中で、子どもたちが、学校のない放課後や長期休業を過ごす機会が増えれば、自然と顔見知りになり、防犯の役割も担うと思います。また、さまざまな大人と接する機会が増えることは、子どもたちの育ちにとって多様な価値観や生き方を知ることができ、大変有益だと思います。堀川まつりが行われ、上京区中の子どもたちが集まり、交流することのできる場、堀川商店街での上京区拠点設置を願います。 	<p>いただいた御意見の趣旨も参考に計画推進に努めます。</p>

D 市政運営等の参考とする御意見、その他（32件）

御意見の要旨	
<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化，ゴミ問題，脱炭素社会の実現に向けて，私たち一人一人が節電や食べ残しゼロ等，努力しています。ゴミを少なくするよう分別やリサイクルにも取り組んでいます。京都市のゴミ袋もそうした住民の後押しをしてできるだけ値下げしてください。 ・CO2 排出削減目標 40%と掲げられているが，市民にはその必要性や理由があまり周知されていないように感じる。マイバッグ，マイボトルを持つだけでは，CO2 はほとんど削減できない。しかし，それ以外どんなことをすれば良いのか分からない市民が多い。亀岡市のようにレジ袋廃止や，長野県のようにテイクアウトのリユース容器の導入など，自治体としての取組をして欲しい。 ・脱炭素社会を目指すうえでごみの排出量を抑えるという目標を掲げているが，そのためにはリサイクルがカギとなってくると思う。それを効率よく実施するためには分別を的確に行う必要があると思うが，京都市では分別が大雑把であるように感じる。 ・京町家の魅力発信は確かに重要だが，同時に減少しつつある京町家の保護も大切であり，また既存の政策ではその減少に歯止めをかけることができていないように思われるので，新たな上京区独自の保護策を取組の具体案に含む必要があるのではないか。 ・京都市は非常に小路が多く自転車は市民の足に最適であると考えているので，自転車に関する環境整備は更に進める必要があると思う。 ・町内役員の負担を軽くして，市民，区民新聞を業者委託してください。 ・脱炭素の推進と LRT の導入検討を計画に追加してほしい。 ・エンゼルハウスの閉鎖，社福会館の閉鎖など文化を大切にしているとは思えない。場の確保について具体案を示してほしい。 ・今以上に文化を大切にすることは可能なのかと疑問に感じた。 ・自治会などが今はやめてしまう人が出てきたので，どのようにしたらいいのか？ <p style="text-align: right;">など</p>	

将来像2「安心安全に暮らせるまち」について

A 計画（案）に反映，検討の参考とする御意見（5件）

御意見の要旨	御意見に関する考え方
<p>【地域見守り箱：2件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域見守り箱」とはどのようなものか？ ・地域見守り箱とは。 	<p>いただいた御意見の趣旨を踏まえ、文言と注釈を追記します。</p> <p><u>地域見守り箱等を活用したパトロールの推進及び設置拡充</u></p> <p><u>※地域の安心安全を守る取組の一つとして、小学校をはじめ区内各所に設置されており、住民が散歩や買い物の途中で、箱の中にあるカードに巡回記録を記載することで、住民の防災意識の向上や、犯罪等を未然に防ぐ「地域の目」の醸成に役立っている。</u></p>
<p>【読みやすさ：3件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの取組の具体案が挙げられていたが、一度もその機会に参加したことがなくイメージを持ちにくいので、実際の写真などがあれば良いと思う。 ・文字ばかりのページだったので、少し読みにくさを感じた。 	<p>いただいた御意見の趣旨を踏まえ、本冊には写真を掲載します。</p>

B 計画（案）に賛同，趣旨が反映されている御意見（81件）

御意見の要旨	御意見に関する考え方
<p>【自転車のマナー向上：23件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生が多く自転車利用が多い上京区において、交通の安心安全を考える際に自転車利用のマナーがまず解決すべき問題となるように思う。 ・上京区では自転車に乗る人が多いので、マナー向上をはじめとした対策を続けて行く必要があると思います。 ・自転車のマナーと環境整備を徹底することによってより安心した暮らしを感じられると思いました。 ・自転車は起伏の少ない上京区では大切な乗り物であって、交通ルールの意識を自転車に乗る人だけでなく区民全体で高める必要があると思います。近年ではフードデリバリーの利用数の増加によって自転車に乗る人がさらに増加しているので、自治体における自転車の講習をもっとできないのかなあと思います。 	<p>自転車のマナー向上等について賛同，評価する御意見を数多くいただきました。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・街歩きが楽しく、狭い路地も多く存在する上京区だからこそ、自転車の交通ルールを区民だけでなく、学生や観光客にも守ってもらうように啓発運動に取り組むのは良いことだと思った。 ・大学でも自転車の講演会を開いた方がいいと思う。上京区には大学生が多いから。 ・交通マナーは小さいうちから感覚として身につけることが一番効率的だと思うので、マナー教室などは良いと感じた。 ・やはり京都は都会でもあり、上京区は学生の町でもあるので自転車がも多く、さらに自転車のマナーが悪い人も多いと思う。これらの行動を阻止するために上京区では様々な取組を行っていて、やはり改善されているように思うが、もう少し警備や巡回を多くするなどして、マナーの悪い人を注意していくことも重要であると思う。 ・私は特に方針3の推進が重要だと感じました。それは、幅の狭い道が多く、自転車の利用も多い同区における住民の安全を守っていくためには、このような方針のもとでの活動がこれまで以上に重要になっていくのではないかと思ったからです。また、区民の意識の底上げはもちろんのこと、行政による、より安全な道路や歩道の整備も大切だと思います。 ・普段からよく自転車を利用するが、狭い道が多くかつ交通量も多いため、いつも慎重に自転車に乗っている。自転車の通行ゾーンが決められており、整備の面に工夫があるのはとてもいいと思う。加えて、住民の安全意識を高めるような交通イベントがあれば、皆が安全に自転車を利用できると思う。 ・自転車により危ない目にあったことなどがあり、交通事故も多発している。そこで、この問題を解決しなければ今後観光客などが訪れても危険に晒される可能性もあるため改善が必要であると思う。 ・駐輪自転車対策をすすめてほしい <p style="text-align: right;">など</p>	
<p>【大学生の地域活動参画，地域の目：13件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日頃の声掛けやパトロール等を通じて、地域のつながりを強めるとともに、防犯対策にもなるというのは、一石二鳥でとても効率的な策であると感じた。住民もより過ごしやすく、居心地の良い地域社会になるだろう。特に、上京区周辺に大学が多く、大学生がたくさん住んでいるため、大学生をはじめとする若者の地域活動参画の促進はとても良い策であると思う。 ・若い世代のご近所付き合いが無くなっていることを踏まえると「近助」を大切にするまちづくりの促進にもなるため若い世代の新しい「地域の目」を育成する取組を、力強く押し進めて頂きたい。 ・防犯を強化し、地域の体感治安を高めるために、若い世代の新しい「地 	<p>大学生の地域活動参画等について賛同、評価する御意見を数多くいただきました。</p>

<p>域の目」を育成する取組を行うことは、持続可能なまちづくりを目指す上で重要であると感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上京区の体感治安の高い、災害に強い街づくりには大学生の力が必要不可欠であると感じる。地域の目として大学生などの若い世代は高齢化が進む中必要不可欠である。 ・空き家や自転車事故の対策として大学生を活用することで、若者が地域活動に参加しやすくなったり、高齢者ではなく若者も関わっているということで防災や防犯に繋げることができたりすると思うので、この取組は良いことだと思った。 ・上京区で下宿をしている大学生の地域活動参画の促進の状況、計画について知りたいと思いました。大学生など若者の地域活動参画の促進は難しいと思いますが、一度自治会に入るなどすればとても災害対策時などで大きな力になると考えるからです。 <p style="text-align: right;">など</p>	
<p>【安心安全のまちづくり：10件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全は住むうえで重要なことであり、この点は引き続き実行していく必要があるのでは無いかと感じた。 ・治安維持、改善のための対策、取組がかなり細かく記載されているのでとても説得力のあるものになっていると思った。 ・住民や町の安全に関しては、住民一人一人の防犯意識や災害対策への意識が必要で、そこを促すことが行政にできる数少ないことだと思うので、書かれているような対策が重要であると思う ・全ての面における「安全性」が高いまちは、全ての層において魅力的に見えてくるものであり、逆に安全性が保証されないまちは住み続けたいとはならない。上京区の安全性に対する取組は意識が高いものであるなと感じる。今後も安全性に対する意識を突き詰めていってほしい。 ・少補、防犯、交通等、諸団体が一体となり、地域の安心安全の取組みが展開されていると思います <p style="text-align: right;">など</p>	<p>安心安全のまちづくりについて賛同、評価する御意見を数多くいただきました。</p>
<p>【災害に強いまちづくり：10件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「災害に強いまちづくり」について、私自身、上京区に住み始めて一年だが、災害に対する取組は他の地域と比べても、積極的であると感じる。これは、地域住民の災害に対する意識も強くなり、災害被害を最小限に抑えることができると思うので、いい取組だと思った。 ・方針2の寺社等の協力による防災拠点づくりが、京都ならではの取組だと考えた。寺社の安全性を確認し、アピールしていく必要がある。 ・地域防災活動への取組や連携がしっかりとされていて力強い印象を受けました。 	<p>災害に強いまちづくりについて賛同、評価する御意見を数多くいただきました</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・防災に関したと日頃からのマップによる避難場所と避難経路の確認などは個人が自発的に行う内容である。そういった意識づけを行う活動は必要である。 ・京都は木造建築や碁盤の目のような特殊な形をしたまちなので、住んで間もない人たちなどは災害などの避難で戸惑うかもしれません。学生のまちともいわれているので、全世代が安心できるようなまちでいてほしいと思います。 <p style="text-align: right;">など</p>	
<p>【子どもにやさしいまちづくり：7件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人がいかに子どもを守る、子どもに優しいまちづくりを進めるべき。 ・地域の目が行き届いた町では安心感を持って暮らせると思う。特に子供を持つ親にとって、住みよい街になると思う。 ・日々の安全は住民がそこに住みたいと思うかの非常に重要な要素である。特に子供の安全が重要である。子供たちの安全を守るには地域の目をより強化する必要がある。 ・声掛けは今の若者も老人にして頂いております。私達も学校帰りの子供達にもお帰りといっています。 ・子供にやさしいことが伝われば、若い世代が増えて活性化につながると思います。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>子どもにやさしいまちづくりについて賛同、評価する御意見をいただきました。</p>
<p>【交通マナーの向上等：6件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は上京区に住んでいて、物騒な事件は全く聞きませんし、治安もいいと思っています。ただ、信号機が多いためか、短い距離なら信号を無視して歩行している方をたまに見かけるので、そこは意識を変えていかなければならない部分だと感じました。 ・交通安全について、上京区は大学生も多く、大学生などの若者世代による歩きながらのスマートフォン操作をよく見かけます。歩行者への交通ルール、マナー啓発の取組は有効的なモノになっているのでしょうか。上京区で生活していて感じることは、非常に交通量が多いことです。一人一人の意識を高める事が必要だと思います。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>交通マナーの向上等について賛同、評価する御意見をいただきました。</p>
<p>【自転車盗対策：5件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体感治安は割と良いと思うが、やはり自転車盗難は多い。大学付近で一人暮らしをしている友人達に話を聞くと二人に一人くらいの割合で一度は自転車を盗られたまたは盗られそうになったことがあると思う。 「地域の目」はもちろんのことそれを促す行政の力も必要だ。 ・私の友達も自転車盗をされて困っていたので、地域の目を育成し、地域 	<p>自転車盗対策について賛同、評価する御意見をいただきました。</p>

<p>の防犯力を強化しこのような被害が少しでもなくなればいいと思った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ちゃんとしている駐輪スペースは増えているものの、自転車が盗まれたとよく聞きます。もう少しだけ自転車盗難を防ぐ対策が増えたらと思いました。 <p style="text-align: right;">など</p>	
<p>【地域コミュニティ：5件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隣人，町内会仲間の大切さを訴えていきたい。 ・まずは町内会，女性会に結果することの重要性がよくわかる ・災害発生を想定して自治会，町内会への加入促進。 ・防犯対策を警察や他人に丸投げせず，地域一体となって取り組む姿勢が良いと思いました。こういう場面で日頃のコミュニケーションが生きてくると思う。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>地域コミュニティの大切さについて賛同，評価する御意見をいただきました。</p>
<p>【空き家，民泊対策：2件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家対策は上京区の課題なので，前向きに取り組んでほしい。 ・伝統的な街並みを活かした観光には，民泊等がつきものだと思いますが，そこにおけるパトロールがされているのは素晴らしいと思った。 	<p>空き家，民泊対策について賛同，評価する御意見をいただきました。</p>

C 今後の計画推進の際に参考とする御意見等（16件）

御意見の要旨	御意見に関する考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いまちづくりへの取組の具体例として，毎月25日の上京区安心安全点検日に家庭内の非常持ち出し品や家庭用備蓄品の自主点検が行われているとあったが，行政がチェックシートのようなものを配布することで住民が備品を備えようという意識が生まれるのではないかとと思う。 ・「上京区の安心安全点検日」に合わせた非常持ち出し品や家庭用備蓄品の自主的な点検，準備』について，地域だけではなく区役所や市役所も加えて推進していくべきだと考える。やはり準備をすることつまり防災は非常に大事だと思う。CMやラジオで防災について呼びかけたり，チラシとして備蓄品リストを各家庭に届けるなどして，一人一人の目につき意識させることが必要であると私は考えた。 ・大きな災害が増えてきています。避難所が安全安心できる場所になるようにして下さい。スロープでの出入り，洋式トイレ化，ペットと避難ができる場所，雑魚寝でなく，家族単位でプライバシーが守られる空間の確保等。 ・自然災害が増え，避難が必要な事態が生じる可能性が高まっていますが，避難所になる小学校には全員避難できるスペースも感染対策やプライ 	<p>防災対策や避難所運営についての御意見を参考に計画推進に努めます。</p>

<p>バシー配慮，障がいのある人への対策など不安要素が沢山。新たな避難所確保と部品の拡充，急いでください。</p> <p style="text-align: right;">など</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・自転車事故が多いとあったが，コロナ禍で自転車に乗る人や，自転車で配達を行う人は増加している。今後のことを考えると，事故を未然に防ぐためにも自転車に乗る人の意識に頼るのではなく，幅の狭い道路などを歩行者専用するなど利用の制限も検討してみてはどうか。 ・治安に関していえば，京都の通りは数多く，また一本一本が非常に細い。自分は実際に夜の京都の小路を歩き，少し暗いなという印象を受けた。治安維持や交通安全のため，監視カメラ以外にも，街頭や照明を景観に配慮して京都らしさを出して（提灯型など）設置するというのも一つの提案としてよいのではないかと感じた。 ・上京区の特に京都御所周辺の通りは街灯が少なく，夜道を歩くのが危険と感じることが多い。そのため，夜間のパトロールも積極的に行ってほしいと思う。地域の防災活動が活発化していることは今後も継続してほしいが一人暮らしの高齢者あるいは学生の参加を施せるような活動も充実させた方が良くと思った。交通安全に関しては，歩行者や自転車を利用する人の交通ルールに対する教育を強化させる取組は重要だが，裏道における自動車の速度が速く非常に危険と感じるため，自動車の交通指導も同時に強化すべきだと思う。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>いただいた御意見の趣旨も参考に計画推進に努めます。</p>

D 市政運営等の参考とする御意見，その他（23件）

御意見の要旨	
<ul style="list-style-type: none"> ・上京区は歩道が狭く，歩きにくい。この課題を京都市として解決してほしい。 ・歩道拡幅などによる歩きやすいまちづくりを進めてほしい。 ・歩道の整備をお願いしたい。高齢者が手押し車で歩くには怖いところがあり，車道に出てしまう。危険である。 ・自動車分担率を下げる取組を京都市と連携し，進めてほしい。 ・京都市街地は多くの人々がいるが故に小さな子供を狙った誘拐事件などが起こりやすい。そのため地域住民が納める税金を活用し，親がGPSを利用して自分の子供の位置確認ができる装置を特に小学校低学年の子供がいる家庭に配布し子供に持たせることを提案する。 ・コロナ禍での保健所の大切さを実感を持って大事だと思っています。保健所を増やし保健師さんを増やしてください。 ・保健所から保健センターになったと聞きますが，京都市民区民の命を守るために保健所，保健師さんを増やして健康を守るとりでにしてください。 <p style="text-align: right;">など</p>	

将来像3「賑わいを創出し、豊かさを実感できるまち」について

A 計画（案）に反映，検討の参考とする御意見（2件）

御意見の要旨	御意見に関する考え方
<p>【食べ歩きについて：1件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体策に「食べ歩きツアーの実施」とあるが、マスクを外してまちで食べ歩きを楽しめるようになるにはまだ時間がかかるのではないかと。 	<p>いただいた御意見の趣旨を踏まえ、表現を以下のとおり修正します。</p> <p>「商店街と区民をつなぐまち歩き、食べ歩きツアーの実施」 (修正後)</p> <p>「商店街の魅力を伝えるまち歩き等の実施」</p>
<p>【出生率について：1件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出生率が全国的に低い現状を計画に書き込むべき。 	<p>いただいた御意見の趣旨を踏まえ、「全国的に少子化が進行しており」等の表現を将来像4・方針2に追記します。</p>

B 計画（案）に賛同，趣旨が反映されている御意見（61件）

御意見の要旨	御意見に関する考え方
<p>【大学生：18件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域企業と大学生の連携は大学生の上京区への定住にも繋がると思うので今後もより開催するべきだと感じた。 ・地域企業と若者のマッチング機会の創出ということで、大学内で地域企業の人の講演会を行ったり、生協を通じたインターンなどの促進を進めていったりすべきだと考える。そうすることによって、より学生との地域企業の距離も近くなると考える。 ・学生の街でもある上京という点を生かして良いと感じた。 ・若者と協同する取組がいくつかあったが、大学生が多い地域だからこそ取り組める政策だと感じた。このような、上京区だからできるというものをどんどん推し進めていくべきだと思った。 ・大学生が地域の方と繋がり、そこから新たな観光資源や魅力を発信し、区外からの人の流入を活発にするべきである。地元で活躍するNPO法人と学生を繋いで現状や具体的な活動内容を知らせることで、学生が主体となって動き出し様々な取組を行うことで賑わい、豊かさを実感出来る街になると考える。 ・上京区は高齢者もいるが、特に学生が多い街であるので、若者が活躍し住みたくなる街作りは非常に良いと考えた。 ・私は特に方針2の推進が重要だと感じました、それは、今後ますます高 	<p>大学生のまちづくりについて賛同、評価する御意見を数多くいただきました。</p>

<p> 齢化が進んでいくという状況のなかで、区内の人口の約1割を占める若い世代が中心となって、区やNPOなどと協力しながら活動を実施していくことは、同区をより活性化させ、持続可能なまちづくりを推進していくうえで非常に大切なことであると考えたからです。 </p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域が賑わいを持続させていく手段として、若者が活躍するまちづくりは大切なことであると感じた。区内の人口の約1割が学生である上京区は、若者がいるという強みを生かし、若者がさまざまなコミュニティと連携を取れるような環境にしていくことは大切であると思う。 ・これからの時代においては、現在の若者世代が中心となって、世界規模の様々な問題解決のため、SDGs 実現に向けた活動などに取り組む必要がある。そのため、大学生が活躍できるまちづくりはどんどん進めていくべきであるとする。 ・様々な環境下で育ち、感性豊かな若者の集うまちであることを活かし、学生のアイデアを参考にまちづくりを進めることは、特性を生かした有効な手段である。 <p style="text-align: right;">など</p>	
<p>【子育て層、若者：10件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化が進む上京区においては、子育て世代が魅力を感じるまちづくりが重要であり、力を入れて取り組んでほしい。 ・地方移住に興味のある子育て世代が進む中で、教育機関が多い上京区への移住に興味のある人たちは多いと思う。そういう人たちをどういう風にならうましく取り込むかが課題だと思う。 ・まちの活力には、大学生をはじめとする若年層や若い子育て世代を上京区に呼び込み、定住してもらうことが求められる。 ・若者が住みやすい街という点に関し、とてもいいと思った。 ・やはり、にぎわいの創出には若者の力が不可欠だと考える。若者が活躍できる活動がより多くあれば、確実にまちの活性化につながると思う。そのために、まずは、若者がそのような活動に参加しやすい雰囲気づくりも大切になってくるのではないかと感じる。 ・若者の視点で実施するまちづくりを支援することで、より効果的なまちづくりができると思う。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p> 子育て層や若者を支援するまちづくりについて賛同、評価する御意見を数多くいただきました。 </p>
<p>【空き家活用：9件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の活用方法は、とてもいいなと思いました。 ・空き家の活用ではすでに民間でも実績があります。行政が積極的に活用していただけるとありがたいです。 ・空き家、空き店舗を利用してコミュニケーションスペースを作って欲しい。 	<p> 空き家活用について賛同、評価する御意見をいただきました。 </p>

<ul style="list-style-type: none"> ・京都の街並みの綺麗さを考慮して空き家を利用した活動は面白いと思いました。 ・空き家問題は京都府において大きな課題だと思う。空き家の増加は周囲の治安や衛生状態の悪化に直接的に影響するので、空き家の再活用、取り壊しなど迅速かつ有効な方法を見つけ実行に移す必要があると考える。 ・空き家問題については上京区に関わらずどの地域でも行政の活動が重要な役割を果たすので、上京区の空き家の現状は14.0%という数字を知り、今後の行政がどれだけその数字を減らしていくことができるのか興味を持った。 <p style="text-align: right;">など</p>	
<p>【商店街の活性化：7件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の活性化は、防犯にも役立ち、若者の活動拠点ともなり得ます。 ・商店街が元気になる取組をお願いします。 ・商店街の活性化にも期待します。大型スーパーマーケットが台頭し、商店街で買い物をする人は減少しています。商店街が活性化することができますと、よりにぎわいを創出することができます。新たな観光スポットにもなると思います。歩いて観光できる上京区のポリシーにも当てはまると思います。 ・スーパーなどの台頭で厳しくなっている商店街を復活させようとしていることに関心を持った ・北野商店街と連携し、活気あるまちづくりを進めていただきたい。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>商店街の活性化について賛同、評価する御意見をいただきました。</p>
<p>【にぎわいの創出：5件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上京区は住宅地が多いため、あまり賑わいを感じられない。賑わいを実感出来るまちづくりをしてほしい。 ・賑わいを豊かさに繋げる具体的な取組を行い、情報発信すべき。 ・上京区の活性化にあらゆる主体と連携し、取り組んでほしい。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>賑わいの創出について賛同、評価する御意見をいただきました。</p>
<p>【観光の振興：4件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上京区には有名なお店がたくさんあり、観光客にも非常にいい印象を与えられていると思う。なので、それをもっと全面に押し出して引き続き活性化に尽力してほしい。 ・上京区は清水寺などのように目立つ観光資源はないですが、京都御所や西陣織、町並みなど確かな京都があると思います。それらを強みとしていくための具体案をもっと知りたいと思いました。観光の対象として何度も京都に足を運んだことがあり、より歴史に焦点を当てたい人はいいのではないかと考えました。 	<p>観光の振興について賛同、評価する御意見をいただきました。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・上京区には相国寺をはじめ、京都御所など様々な歴史を感じられる観光地が存在する。将来像3のように「にぎわいを創出」「豊かさを実現」するためには、この貴重な観光地を利用するのが有効であると考えている。そのため、方針5の取組の具体案にあるように「歩いて楽しむ観光の充実」は非常に良い策であると思う。京都には市バスなどの交通機関も充実しているため、観光に注目してこの将来像を実現していくのが最も有効であると思う。 <p style="text-align: right;">など</p>	
<p>【西陣の活性化：3件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上京区は西陣織というとても誇れる地域産業を持っていると思うので活性化と魅力発信をすることはいいと思う。クリエイティブな事業者を呼び込むと書かれていたが具体的にどのように呼び込むのかも示すといいと思います。 ・西陣織の出荷額が24年間で約9割減少したということに衝撃を受けた。日本の伝統である着物文化を次代に伝えるためにも、「方針1」の西陣をはじめとする「付加価値の高いものづくり文化」の発信と地場産業の活性化が急務と思う。最近、日本の若者だけでなく海外の観光客にも着物人気が高まってきており、和装文化を復興させるいい流れが来ていると思う。本当に質のいいものを手軽に購入できるだけでなく、良いものを見分ける目を養う学習機会がもっと増えるといいのではないか。また、絹織物はデリケートな扱いが必要であることが、とっつきにくさにもつながっていると思うので、例えば家で気軽に洗濯可能な絹製品の開発ができ、それが手ごろな価格で販売できるようになれば、もっと若者の購買につながると思う。 ・和装が完全に復活することは難しいが、西陣織をはじめとした高付加価値のものづくりの文化は大きな特徴であり、オフィスの空き家活用やスタートアップ支援などは推進していくべきだと考える。また、人の力も優れているが、他の地域が決して模倣することのできない文化的な価値の高い建造物が多く、これも大きな特長である。これらの特長と地理的な立地の利便性などをより具体的に伝えることで現役世代はさらに集まると思いました。 	<p>西陣の活性化について賛同、評価する御意見をいただきました。</p>
<p>【婚活：2件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・140周年の上京婚活は非常に良い取組であったので、またやってほしい。 ・定住促進の取組の具体案として、婚活を通じた出会いの場の創出があげられている。一昨年の開催では多くのカップルが誕生し、結婚されたカップルもいらっしゃる。これは非常に良い取組だと考える。定住人口の獲得、また少子高齢化に働きかけることができるからだ。 	<p>婚活について賛同、評価する御意見をいただきました。</p>

<p>【スタートアップ、エコシステム：2件】</p> <p>・スタートアップ・エコシステムについて、この点は上京区にとってより大きな利益になる。まずは起業家などを支援して、活性化に繋げるべきである。</p>	<p>スタートアップ・エコシステムについて賛同、評価する御意見をいただきました。</p>
<p>【SNSの活用：1件】</p> <p>・スマートフォンアプリを使った取組はとても良いと思います。特に若者は常にスマホで SNS をチェックしているので、Instagram や Twitter を活用して商店街の魅力を発信していくことなども良いのではないかと思います。</p>	<p>SNS の活用について賛同、評価する御意見をいただきました。</p>

C 今後の計画推進の際に参考とする御意見等（41件）

御意見の要旨	御意見に関する考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・現代、情報発信において SNS は欠かせないものであると感じる。Instagram を筆頭に様々な SNS 媒体で上京区の魅力を発信し、主に SNS から情報を享受する若者をターゲットにしていくことが効果的であると思う。 ・Instagram を筆頭に様々な SNS 媒体で上京区の魅力を発信し、主に SNS から情報を享受する若者をターゲットにしていくことが効果的であると思う。 ・今の時代、魅力発信には SNS の機能を利活用するのは欠かせないことだと思っています。若者は、主に Instagram やツイッターなどで新しい情報、生の声を常に享受しているからです。ですので、SNS をふんだんに活用して地域資源の魅力を発信していくのが効果的だと思います。 ・SNS の活用やデジタル技術との融合など新しいものと組み合わせることで、関心を集められるのではないかと思います。 ・今の時代、魅力発信に SNS 活用は必要不可欠であると思う。若者は、主に Instagram やツイッターなどで新しい情報に対して常に敏感だからだ。そのため、上京区も SNS を活用し、地域の魅力発信努めるのが効果的だ。また外国人観光客にも同じ事が言えると思う。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>SNS の活用についての御意見を参考に計画推進に努めます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・大学がいくつもある上京区は、区外からの通学者というのも数多くいると思われま。そういった人々に単なる通学を超えて、周辺エリアの魅力に気づいてもらう取組が必要だと思います。 ・大学生が地域の方と繋がり、そこから新たな観光資源や魅力を発信し区外からの人の流入を活発にするべきである。地元で活躍する NPO 法人と学生を繋いで現状や具体的な活動内容を知らせることで、学生が主体となって動き出し様々な取組を行うことで賑わい、豊かさを実感出来る 	<p>大学生と地域交流等についての御意見を参考に計画推進に努めます。</p>

<p>街になると考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域参画に大学生が参加した後、大学卒業後も続けて参加できるようなシステムはありますか。 ・京都の町は大好きなので、就職後も気軽に参加できたりするコミュニティがあればなおうれしいです。 ・大学生が多いという特徴と昔ながらの町並みの商店街の特徴を活かして、商店街主催で大学生によるアイデアコンペを開き、自治体はその振興を支える仕組みをつくるのはどうでしょうか。 <p style="text-align: right;">など</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・西陣織を知っていてもその高い価値から自分とは身の丈があわない物だと感じてしまいます。もっと多くの人に伝統と魅力を知る機会があったらいいなと思いました。 ・西陣織が今のところどこまで守られているのか、新しく始め流行しているものはあるのか気になりました。大学生がもっと西陣織に関われたらと思いました。 ・ハイブランドとのコラボ等で西陣織のブランド力を高めては？西陣織を気軽に着られる機会が欲しい。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>西陣活性化についての御意見を参考に計画推進に努めます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・取組の具体案として「空き家、空き店舗の活用促進」が挙げられていたがそれらの具体的な活用方として同じような趣味や悩みを持つ人々が集まり楽しんだり相談したりできるようなコミュニティスペースとして再利用することを提案する。これによって多くの人々が繋がりにぎわいのある町づくりが行えると考えます。 ・私は成人式の前撮りを上京のとあるスタジオで行ったが、町家を改装したスタジオで、振袖のレンタルもできる場所だった。このように空き家を改装して再利用し、行う事業も地域産業と結びつけられるような施設が増えればまちづくりに大きな効果を得られるだろうと思う。 ・最近では空き家問題が深刻であるため、観光と空き家を融合させたプロジェクトなどが良い解決策になるのではないかと考える。 ・空き家を活用したまちづくりの取組で、地域のコミュニティスペースとして空き家を活用するとあったが、それに加えて外国人の住居として活用するべきではないかと思う。 ・最近では、古民家を利用したカフェが流行しているが、京都ならではの古民家を上京区の空き家を用いて活用し、若者がそのようなカフェや雑貨屋を開く手助けをすることで、若者が定住し、またそのカフェにくる観光客も増えるのではないかと思う。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>空き家の活用等についての御意見を参考に計画推進に努めます。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・観光地や商店街の情報発信を強める事で、年間製造品出荷額や商品販売額を上昇させる事が可能になると考えます。 ・観光地付近に魅力ある店を誘致することで、観光客の消費を促すべき。 ・持続可能な観光の推進において年間商品販売額の減少は年間製造品出荷額に比べて大幅に下がっている。伝統的な製品が販売されていることも多く、具体案に出されているように多くの人に製品の魅力に触れてもらうことが年間商品販売額の増加につながるのではないかと。 	<p>観光の振興等についての御意見を参考に計画推進に努めます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・堀川商店街は、特に休日にはかなりにぎわいを見せているように感じるが、訪れる人の年齢層は高く、若者が少ないのも事実である。しかし最近では商店街に若者向きの店もオープンしているので、空き店舗や、商店街に限らず、空き家を改装して、多くの人を引き付ける店を開くべきだと思う。 ・京都の商店街は歴史を感じるとともに非常に賑わっていると感じた。また空き家問題についても、それをエアビーなどに活用する道などが見つけられ有効活用をすることができれば良いと感じた。 	<p>商店街の活性化等についての御意見を参考に計画推進に努めます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・若者が多いこの地域では、この目標に関しては達成することで大きな変化が生まれると感じた。現状、若者が多いにも関わらず定着していない。 ・オフィスやワークスペースなどが少しずつ増えているように感じており、そのような取組が増えると、より起業家などが集まりやすく、結果的に若者やイノベーター中心に上京区が賑わうと感じます。 	<p>いただいた御意見の趣旨も参考に計画推進に努めます。</p>

D 市政運営等の参考とする御意見、その他（42件）

御意見の要旨
<ul style="list-style-type: none"> ・土地の価格が上がり、若い世代は家賃が高く市内に住みにくいと聞いています。「子育てが日本一しやすい」を現実のものとするために、保育園の充実、家賃補助等必要だと思います。 ・北野天満宮周辺のにぎわい創出のため、あらゆる主体や京都市と強力に連携し、活気あるまちづくりを進めてほしい。 ・2年前までは都ライトがあり、にぎわいを楽しませていただきましたが、コロナの為にできなくなり残念です。 ・適切な高さ規制の緩和を京都市と検討すべき。また地下空間の利用についてもしっかりと検討すべき。また商店街と飲食店をマッチングさせることで商店街にお金を落としてもらえるような仕掛けが必要。商店街と飲食店、カフェなどのマッチング支援も行うべき。 ・大型スーパーばかりが乱立し、個人商店が潰れていく。地域に根ざした個人商店が活躍できるよう、大型スーパーの規制をしてほしい。個人商店は仕事と生活が直結しているので、無駄が少ない。しかし、大型スーパーは大量生産、大量廃棄で環境にも悪い。気候危機の時代に必要なのは個人商店だ。 ・上京イコール西陣織と思っています。若手の職員さん達が生活できる賃金の保障を。 ・京都市と連携し、雇用創出に力を入れ、活力ある上京区にしてほしい。 <p style="text-align: right;">など</p>

将来像4「ひとりひとりが輝き、希望の持てるまち」について

A 計画（案）に反映，検討の参考とする御意見（2件）

御意見の要旨	御意見に関する考え方
<p>【番組小学校について：1件】</p> <p>・明治2年に小学校が日本で一番はやくできている。子どもたちは地域が育てるといふ考えがある。少し歴史を書いていただきたい。</p>	<p>いただいた御意見の趣旨を踏まえ、本冊の「学区単位の取組」に説明を記載します。</p>
<p>【ヤングケアラーについて：1件】</p> <p>・方針1の「単身世帯の増加」を「単身世帯，ひとり親家庭，ヤングケアラーの増加」に。</p> <p>理由：「孤立」の実態のなかに，ひとり親家庭やヤングケアラーがあり，様々な困難をかかえているにも関わらず，SOSが出せない実態がある。</p>	<p>いただいた御意見の趣旨を踏まえ，以下のとおり修正追記します。</p> <p>また，ひとり親家庭やヤングケアラー※の増加など家庭を取り巻く状況の多様化が進む中であって，子どもやその保護者への支援も求められています。</p> <p><u>※一般に，家族にケアを要する人がいる場合に，そのケアを支える人手が十分でないため，大人が担うようなケア責任を引き受け，家事や家族の世話，介護，感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいう。</u></p>

B 計画（案）に賛同，趣旨が反映されている御意見（55件）

御意見の要旨	御意見に関する考え方
<p>【子育て支援等：19件】</p> <p>・出産，子育てへの支援をより充実させることで出生率増を目指してほしい。大学で京都市や上京区にきた人がそのまま上京区や京都市に定住したいと思って貰えるように京都市と共に本気の取組をしてほしい。</p> <p>・出生数が10年前に比べて3割も減少しているのは心配。少子化対策をしっかりと！</p> <p>・基本計画の目標は人口減少社会の克服であるので，次世代を担う子どもの育成に力を注いでほしい。</p> <p>・大学を卒業した人が京都市や上京区に暮らし続けたいと思ってもらえるように区役所としても本気の努力を見せてほしい。また京都市や京都府とも連携し，オール京都で上京区の人口，交流人口，出生率などを増やすことを目指してほしい。</p> <p>・小さい子供を持つ不安を抱えたお母さん同士の交流は，とても良い環境</p>	<p>子育て支援について賛同，評価する御意見を数多くいただきました。</p>

<p>づくりだと思いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者と若者の両方から考えられている。特に、子育て支援が魅力的であると感じた。こういった行政の支援が手厚くて、行政が子育ての身近な存在になれることが、若い世代を集めることにもつながると感じた。 ・子育てをしているうちにうつになってしまったり、将来に不安を抱えてしまう親はたくさんいるので、地域が密着して助け合えるシステムはとても魅力的だと思った。 ・子育てについて私は重要視しており、子供が生まれた家庭へのお祝い訪問や、子育てを頑張る家庭へのサポートは怠ってはいけないと考えているので、引き続き力を入れていただきたい。 <p style="text-align: right;">など</p>	
<p>【誰もが活躍できるまち：17件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ひとりひとりが輝き、希望を持てるまち」という見出しに大きな魅力を感じた。これは、地域の絆が強い上京区だからこそ実現可能であると感じたため、具体的な取組案をどんどん実行に移し、ぜひ実現してほしいと考える。 ・全ての世代が集まる上京区では、外国籍の人々もいる。それぞれが暮らしやすい環境作り、交流のしやすいまちづくりは非常に大切であると感じた。誰もが活躍できるような素晴らしいまちづくりを続けていってほしい。 ・幅広い世代に対しての支援の指針が書かれており、様々な上京区民が輝ける場所が作れて行けばよいと思いました。 ・これこそ上京区の長所であると思う。地域のコミュニティの強さのおかげで学生から高齢者の方々まで全員が活躍していける。私はボランティアサークルに所属しており、こども支援や高齢者支援を経験したことがある。全員が応援し、応援される町づくりは本当に素敵なことであると思った。 ・私は特に方針1の推進が重要だと感じました。それは幅広い世代や外国籍の市民、障害者などといった様々な価値観や文化を持った人々が共生していくうえで、すべての人にとって暮らしやすく、居心地の良いまちづくりを行っていくことが大切だと感じたからです。 ・「孤立」が進んでいる現在において、年齢を問わず交流できるというまちづくりを行っているのはとても良いことで、どの地域も参考にすべきことであると感じた。 ・子供から学生、子育て世代、高齢者さらには外国人など様々な年齢層や境遇の人に対して全員が安心して充実した暮らしができるようなプロジェクトがあり、生涯にわたって安心して暮らせるまちだと感じた。 	<p>誰もが活躍できるまちについて賛同、評価する御意見を数多くいただきました。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者と若者が共存できる街作りをしていることに関心を持った。 ・「誰もが居場所を持ち、活躍できるまちづくり」というキャッチコピーがとてもステキであると思いました。誰もが住みやすいまちにするために、それぞれ具体的な取組がなされており、将来もこのまちに住みたいと思えるまちだと感じました。 <p style="text-align: right;">など</p>	
<p>【高齢者の支援：7件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人がやりがいを感じられるように高齢者の活動の場を提供することは素晴らしいと思います。また、ICT活用を支援することによって、高齢者が自立することにもつながります。 ・高齢者の活動の場を生み出し、また若者と結び付ける手段として、高齢者の買い物を若者が代行し、その間高齢者同士で交流を行える場と時間を確保するという取組はとても面白く有用そうであると感じた。 ・「文通を通して育む若者と高齢者のつながりづくり」は私自身もやってみたいと思うような取組でした。地域に信頼できる人がいるのは間違いなく希望が持てるにつながると思うからです。 ・この基本計画が終了するころには、高齢者人口がさらに増加していると予想される上京では、やはり高齢者の生きがいを重視していく必要があるという点は、そのとおりであると思った。その方法として、ICT活用が挙げられていたが、これにZ世代の若者と高齢者の交流も組み込んで、相互に輝かせることはできないかと考えた。 ・高齢者が生きがい、やりがい、暮らしがいを持てるまちづくりには、案に記載のある「ICT活用支援による高齢者の『学びの場』づくり」がこれからは欠かせないと思います。スマートフォンの操作が苦手な方に対して、サポートしてあげていただければと思います。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>高齢者の支援について賛同、評価する御意見をいただきました。</p>
<p>【世代間の交流：6件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の大切さも高齢者の大切さもきちんと書かれていてとても好感の持てる頁であった。これからは若者が社会を作る番なので若者の意見を効率的に吸収できるまちづくりにしてほしい。 ・上京区は学生はもちろんのこと高齢者に対する支援が手厚いように感じる。交流会や学生ボランティアなどが盛んに行われているので皆が生きやすい社会になっていると思う。 ・この章は素晴らしい内容だと。ここでも若者らの参画を促して、しなやかな世代間連携が要になると思う。 <p style="text-align: right;">など</p>	

<p>【婚活：6件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域企業と提携した出会いの場の形成は画期的だと思った。 ・上京区の実組として婚活を行うというのはとてもいいことだと思った。アプリでの出会いが増えている今、婚活パーティーなどは少なくなってきたように思う。このような機会があることで、様々な人に出会うことができ、しかも上京区に住む人々の中でできるということで、成立の可能性も高まり、とてもいいと思った。 ・婚活や企業とのマッチングなど、今まで民間事業者がやっていたことを行政が実組することにより、行政の役割が変化してきていることに気づくことができた。 ・若者の婚活を支援する実組など、これまでにはない実組は興味深いと思った。 ・区が婚活を通じた出会いの場を創出しているのは面白いと思った。 <p style="text-align: right;">など</p>	
---	--

C 今後の計画推進の際に参考とする御意見等（38件）

御意見の要旨	御意見に関する考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・少子化と高齢化が同時にやってきます。居場所づくり、活躍できる場所づくりが必要となります。地域の団体が中心となり活動、参画できる機会（場）を作る実組が大事です ・少子高齢化も進み、若者も多い。誰もが居場所をもてるように街づくりをしてほしい。 ・高齢者の方の生きがい、やりがい、暮らしがいという点で世代間の交流の場があれば良いと思います。特に子育てに関しては経験豊富な方が多いと思うので、シングルマザーの親代わりになれるような制度を難しいとは思いますが実施できたらと思います。 ・「孤立」している人の場合は、周りから情報を教えられることがなかったり、どこに情報があるのかが分からなかったりすることから、交流の機会があることすら知り得ないこともあるため、様々な事業の告知も多くの人に知れ渡るような形であるのが望ましいと感じる。 ・上京区には幅広い世代が住んでいるため、どうしても世代間で垣根がないとはいえない状況である。そのため、地域イベントによって、いろいろな世代の人達と交流をしたり、若者がどんどん地域に関わっていったりする必要があると考える。 ・出生率が減少していることを見ても、やはりひとりひとりが上京区に帰属意識を感じられるような場所づくりが必要だと思いました。ひとりひとりがなにかしらの役割をもって上京区のために活動することもいいと思います。 	<p>交流や居場所づくりについての御意見を参考に計画推進に努めます。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・上京区では、一人暮らしの大学生や高齢者の単身世帯が多いという特徴を利用して、助け合う仕組みが作れば、よりひとりひとりが輝き、希望が持てる街に近づく事ができると思います。 ・「孤立」している人の場合は、周りから情報を教えられることがなかったり、どこに情報があるのかが分からなかったりすることから、交流の機会があることすら知り得ないこともあるため、様々な事業の告知も多くの人に知れ渡るような形であるのが望ましいと感じた。 ・上京区では、さまざまな国籍を持つ人々が増えてきていると思います。そうした観点から、多様な文化を認め合い、新しく転入してきた人々にとっても地域内で親しみを感じやすい取組が重要になってくるのではないかと考えます。 <p style="text-align: right;">など</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯の経済的負担がコロナ禍で増えています。子供服の譲り合いなどの場を設けていただくなど、子育て支援をしてください。 ・独自の子育て事業をどれだけ出生率や人口増などの成果に繋げるかが大切。成果に繋げる子育て支援を進めてほしい。 ・子育て環境の充実等「上京区はぐくみネットワーク」との連携を更に充実すべきであると感じる。 ・少子化の進む現状において、子育て世帯の支援を強化し子育てのしやすいまちである必要があると考える。そして、それと同時に高齢化が進むが、高齢者が子供の成長をサポートできる仕組みなどあればお互いにとって良いのではないかと思う。例えば、高齢者が放課後子供の面倒を見たり、子育てをする親の家事の手伝いをするなどが考えられる。 ・「子育て」や「女性」に関する支援は充実させるべきだと考える。安心して子育てができる環境が整っていれば自然と少子化に働きかけることができる。子育てをする母親に向けた支援の例を挙げると、幼児を持つ母親でも働きやすい職場の提供があげられる。また、地域のコミュニティが広がれば母親が安心して子供を預けることもできるので、やはり地域の繋がり是非常に大事だと考える。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>子育て支援についての御意見を参考に計画推進に努めます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・若者が定着するために、上京区に学生が多いのもっと学生が参加できる活動があればいいのと思いました。 ・新型コロナの拡大から、オンライン講義に切り替わったこともあり、孤立感を感じる学生がいるのではと思います。大学に少しずつ通えるようになって、知り合う機会が平常より失われているため、主に若者が活躍する地域活動の必要性が増していると思います。 ・大学卒業後、働きたいと思える場所をもっとつくってほしい。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>学生の支援等についての御意見を参考に計画推進に努めます。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が外出して仲間交流ができるように ・一人暮らしや認知症の高齢者の見守りももちろん大事であると思うが、これらの高齢者が必要としているのは他人と話す機会であると思うため、交流の場を増やす政策や取組があっても良いのではないかと思った。 ・高齢化が進んでいるため、特に高齢者の「生きがい」や「やりがい」が重要視されるべきだと感じる。それに並行して、子どもや若者の応援も同時に図ることで、皆が暮らしやすく、孤立することのない環境をつくることができると思う。そしてそれは、結果的にまちを活気づけることに繋がると考える。 	<p>高齢者の活動支援等についての御意見を参考に計画推進に努めます。</p>
---	--

D 市政運営等の参考とする御意見、その他（40件）

御意見の要旨
<ul style="list-style-type: none"> ・子育てについて、上京区は賃貸が多く、定住が難しい印象を持っているので、子育て世代が定住しやすいような居住区画を設定するとよいと思った。 ・「区民の絆、交流」「自主的な活動支援」とありますが、そのためにも区民が気軽に使える集会施設や多目的のホールが必要です。最近では、今まであった施設がなくなりました。公的に使える場所を作ってください。 ・上京区から、妊娠、出産手当、医療費の免除といった金銭的な支援の充実 ・「高齢者の活動支援」では拠点となる気軽に利用できる集会所のようなものがあればうれしいです。 ・少子化により児童数が少ない学校がある。少ない学校は少ない学校のよいところもあるが、小中学校の学区割について検討の余地があるのではないか。 ・単身世帯が増加しています。近所での助け合いには限りがあります。公的に支援が必要です。 ・教育現場における道徳教育を徹底することにより人々がお互いの個性を認め合いひとりひとりが希望を持って生きていくことができると思う。 ・「輝き」、「希望」、「暮らしがい」など、抽象的な言葉を多く使っていて、少し分かりづらかった。 ・「上京の子どもまつり等を通じた地域や文化に触れる機会の充実」についての提案だが、地域コミュニティの活性化もともに推進するには、お祭り形式にするとよいのではないかと私は考えた。小学校のグラウンドに舞台のほかに屋台も置くことで、様々な世代の人が多く訪れるのではなかろうか。子どもたちの発表や高齢者の方々による伝統的な踊りの披露などを鑑賞しながらお祭りを楽しめるのだ。 <p style="text-align: right;">など</p>

「芽が出る、広がる！リーディングプロジェクトについて」

A 計画（案）に反映、検討の参考とする御意見（2件）

御意見の要旨	御意見に関する考え方
<p>【先進性について：1件】</p> <p>・先進性の欄で「新型コロナウイルス感染症の体験，知見から得た既存の概念をいい意味で改革する」とはどのようなことであるのか具体的に示したほうが市民はわかりやすく，協力的になると思う。</p>	<p>いただいた御意見の趣旨を踏まえ，以下のとおり修正します。</p> <p>「…これまでの取組に新たな視点を加えた取組」</p>
<p>【デザインについて：1件】</p> <p>・P14がすごく詰まっているように見えた。</p>	<p>いただいた御意見の趣旨を踏まえ，ページの下部分に適度なスペースを確保します。</p>

B 計画（案）に賛同、趣旨が反映されている御意見（72件）

御意見の要旨	御意見に関する考え方
<p>【地域企業と大学生による地域課題解決プロジェクト：23件】</p> <p>・「地域企業と大学生による地域課題解決プロジェクト」に興味を持った。大学生ならではの発想や視点を生かし，地域企業が抱える経営課題の解決できるとともに，大学生自身にとってもとても良い経験になると感じる。</p> <p>・大学生が多い利点を活かして，大学生と連携しての取組は双方にとって利点があると思う。ここで挙げられていたプロジェクトはどれも大学生にとって良い経験になったり，考えるきっかけになるものだと思う。また，このような取組を大学生を上手く活用して行うことで，その大学生が継続してこの町の課題に取り組んでいきたい，関わっていききたいと思うきっかけになるかもしれない。</p> <p>・上京区の活性化につながる様々な企画が行われていて，どのプロジェクトも素晴らしいと思った。特に「地域企業と学生による地域課題解決プロジェクト」は，学生に上京の魅力を知ってもらえる良い機会になると思った。このプロジェクトにおいて，上京の魅力を知り，卒業後も上京区に住み続けたいと思ってくれる大学生が今後出て来れば良いと思う。</p> <p>・こんなにもプロジェクトがあるとは知らなかったです。大学生が自ら意見を出せる地域課題解決プロジェクトが広まり，参加する学生が増えればなと思いました。</p> <p>・最後に具体的なプロジェクトがまとめられていて，分かりやすく「地域企業と大学生による地域課題解決プロジェクト」があることを知り，大学生でも地域のために貢献できることはたくさんあることに驚いた。</p> <p>・「地域企業と大学生による地域課題解決プロジェクト」は社会経験を積</p>	<p>地域企業と大学生による地域課題解決プロジェクトについて賛同，評価する御意見を数多くいただきました。</p>

<p>みたい学生にとって挑戦してみたいと感じる取組だと思えます。今後も継続して行われるべき活動だと思えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者が就職によって最終的には区を離れてしまう。そのような現状がある中で、「地域企業と大学生による地域課題解決プロジェクト」は非常に良いものだと感じた。若者にまちの現状を注目してもらうことや、実際にプロジェクトを考えてもらうことで、上京区に対して興味を抱いてもらうきっかけになると思う。 ・様々なプロジェクトがあり、中でも「地域企業と大学生による地域課題解決プロジェクト」に興味を持ちました。学生ならではの視点を活かした問題の発見や解決をすることができ、機会があればこういったプロジェクトに参加したいと思いました。また、こうした様々なプロジェクトに参加することで、より一層地域への愛着も深まり、上京区の定住人口の減少に歯止めをかけられるのではないかと思います。 ・大学生と協力して街づくりをしていくのは、大学生の勉強にもなるし、上京区側も若者目線の意見を取り入れることができ、一石二鳥であると思うのですごくいいと思う。 ・全体的に地域活性化には若い世代の力が必要だと感じた。そのため、大学生のうちから地域についてのプロジェクト等に参加してもらうことで、大学卒業後も地域に定住してもらえないのではないかと思います。大学生の多い上京区だからこそ、地域活性化のために大学生を積極的に活用すべきだと感じた。 <p style="text-align: right;">など</p>	
<p>【プロジェクト全般：21件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の住民に対して、様々なプロジェクトがあること、そして「自分事」として認識してもらうことが重要な第一歩になると感じます。 ・上京が持つ強みを課題に生かす素晴らしいプロジェクトであると思いました。重点的に今後取組長い期間かけて、評価と改善をしていく機会を設けていくべきだと思いました。 ・上京らしさを生かしたさらなる発展を目指していて素晴らしいと感じた。 ・行政だけでなく、地域の人を主体で活動している点が良いと思った。結局上京区で生活する人は、上京区民なので自分の住んでいる町についてよく知ることができる活動があって羨ましいと感じた。 ・地産地消や実際に空き家の対策も行っていると初めて知ることができた。また、先進性の概念で、新型コロナウイルスの猛威を逆手に取り、よりよく運用していこうとする活動に興味がある。何年おびえ続ければならないのか少し先の未来まで読めない昨今では、少しでも早く動いたほうがいいのではないかと考える。そのためこれらにより得られた知見 	<p>プロジェクト全般について賛同、評価する御意見を数多くいただきました。</p>

<p>でより革新的にという取組に多いに期待が持てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に自治体が主導してプロジェクトを行い、地域の課題を住民とともに解決するという手法は、地域住民も貢献した気持ちを感じられるし、誰にとっても良い手法だと感じた。 <p style="text-align: right;">など</p>	
<p>【地産地消プロジェクト：13件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消推進プロジェクトを強力に進めてほしい。記載されている取組以外にもスーパーや八百屋への地産地消の働きかけや飲食店へ地元の農産物を使用するように促してほしい。地産地消は市や府などと強力に連携しながら進めていくべき。 ・地産地消は地域の活性化に直接繋がりがやすく、わかりやすい政策でありとても良いと感じた。 ・「立売」での地産地消推進プロジェクトは、地域のために自分が貢献していると感じられると思うので、とてもいい取組だと感じた。 ・「立売」プロジェクトは上京区の資源を活用することで、地域の人にも上京区のよさを再発見してもらいたい機会であると思う。 ・マルシェの開催が特に気になりました。地産地消への推進だけでなく、購入した野菜などの調理法を聞くなど共通の話題が生まれやすく、より住民同士の交流のきっかけとなるからです。 ・地産地消プロジェクトが非常に良い。そこに、京都独特の味付けを实践できるようにレシピを公開してもらおうと、食材の活かし方を学べるため、ぜひ実践してほしい。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>地産地消プロジェクトについて賛同、評価する御意見を数多くいただきました。</p>
<p>【「地域と共存する上京ならではの観光スタイル」の創造、推進プロジェクト：3件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は特に「地域と共存する上京ならではの観光スタイル」の創造、推進プロジェクトの推進が重要だと感じました。それは、同区の観光地としての人気を高め、地域の活性化を図っていくことと、観光公害などの発生を抑制し、地域の特性に合わせた観光を実施していくことが住民にとっても、観光客にとっても重要になるのではないかと感じたからです。 ・ポストコロナ社会における観光の在り方が模索されていたが、確かに以前と同様のインバウンド需要を今後見込めるかは怪しいため、国内及び地域内での観光に着目したり、特産品や地域産業と ICT 技術を結び付けるなどして、新たな需要を生み出す必要があると考える。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>「地域と共存する上京ならではの観光スタイル」の創造、推進プロジェクトについて賛同、評価する御意見をいただきました。</p>
<p>【府、市、区協調で、上京ソリデール推進プロジェクト：3件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「府、市、区協調で、上京ソリデール推進プロジェクト」に賛成です。 <p>理由等：高齢単身世帯の増加（空き家発生の危惧、孤立化の危惧）、地域</p>	<p>府、市、区協調で、上京ソリデール推進プロジェクトについて賛同、評価する御意見をいただきました</p>

<p>関係の希薄化が進行する中で、上京ソリデール「高齢単身の方の住まいのある住まい方」に取り組むべきです。京都府で取り組まれているソリデール事業を、地域事情に精通している区役所や自治組織と連携することで促進が期待されます。 ※大学のまち京田辺市において「京田辺ソリデール」が推進されています。市役所や自治組織が連携して、多数の同居マッチングを成立させています。 ※京田辺市は、今年度からリフォーム補助制度を創設し、一層の推進に取り組まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 上京ソリデール推進プロジェクトは高齢者と若者が交わる良い機会であり、高齢者から若者に上京について教えることもできる。それによって、若者もより上京について詳しくなり、愛着を持てるようになる良い取組なのでより進めていくべきだと考える。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>た。</p>
<p>【上京大茶会プロジェクト：3件】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「上京大茶会」のような楽しみながら文化を継承できるイベントを増やしていくべきだと私は考える。楽しみながらできるので、若者などが遊び感覚で参加できるので、参加が促進されると思う。また文化を継承し、発展させることも同時に行えると思う。 すでに地域間や世代間を通してつながりを深める取組が行われていることが分かりました。令和元年には上京大茶会や和装参加の婚活が開催されて大盛況だったとのことなので、そのようなイベントを NPO 団体と協力して実施している環境が良いと思いました。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>上京大茶会プロジェクトについて賛同、評価する御意見をいただきました。</p>
<p>【地域をつなぐICT活用プロジェクト：3件】</p> <ul style="list-style-type: none"> どのプロジェクトも区民のことが考えられているポジティブなものだと思った。特に高齢の方を対象とした ICT 活用プロジェクトは現代において欠かせないと考える。これらをできるだけ早く実現し、先進的な取組をしていると全国に先駆けてほしい。 地域をつなぐ ICT プロジェクトにおいて、高齢者を対象に情報通信手段であるスマホなどの操作方法を教えるというサポートは非常に有用だと思った。身近に若者がいない高齢者が一人でスマホの有用性を享受することは難しいので、それを助けるサポート体制が整っていることに感心しました。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>地域をつなぐICT活用プロジェクトについて賛同、評価する御意見をいただきました。</p>
<p>【社寺等の協力による地域の防災拠点づくりプロジェクト：2件】</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災の取組に関して、多くある寺社に協力していただければ有効な取組ができる可能性があるのではないかと。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>社寺等の協力による地域の防災拠点づくりプロジェクトについて賛同、評価する御意見をいただきました。</p>

<p>【空き家流通対策の仕組みの構築プロジェクト：1件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上京らしさや実現可能性を求めて空き家が多い現状で、その空き家の活用をすることはとても良いと考えた。地方から来る人も多いので、その利用は非常に良い。 	<p>空き家流通対策の仕組みの構築プロジェクトについて賛同、評価する御意見をいただきました。</p>
--	--

C 今後の計画推進の際に参考とする御意見等（17件）

御意見の要旨	御意見に関する考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の活用方法として、大学のゼミの部室のように使って、そのようなゼミ発で地域密着型のプロジェクトを展開していけたら、落ち着いた環境でイノベーティブな活動を行える大学生、空き家問題に困る上京、双方に利益となるのではないかと考えた。 ・空き家の活用は非常に難しい取組だと思う。そもそもその空き家の所有者を突き止めることが難しかったり、法的規定により改築工事が困難な地域に空き家が多く存在していたりするからだ。地域をつなぐためにICTを活用するのであれば、高齢者の機械操作を全面的にフォローアップしていく必要があると思った。 ・空き家の有効活用として、お金を落とせる場所とのマッチングをしてほしい。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>交流や居場所づくりについての御意見を参考に計画推進に努めます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・大学生をとどめるという視点ではなく企業を誘致して大学生の居場所や働き口を作るのがいいと思う。地域企業でも生活できる、食べていけると分かれば、学生もそのまま残ろうと考えてくれるかもしれない。「上京大茶会」の実施には大いに賛成ではあるものの、地域力や都市格の向上が一時的なものに留まることがないように内容の工夫や活動の継続を図ることが要されると思った。 ・ICTの活用について、少し気になっている。確かに、災害などにより地域で高齢者が孤立する状況を防ぐために、ICTの活用プロジェクトを進めることは重要であるかもしれない。ただ、学んでも忘れてしまったり、学ぶ機会を得られなかった者たちが孤立するかもしれない。そのほかにも取組が必要であると感じた。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>いただいた御意見の趣旨も参考に計画推進に努めます。</p>

D 市政運営等の参考とする御意見、その他（29件）

御意見の要旨
<ul style="list-style-type: none"> ・京都市では財政危機を叫びながら、様々な補助金や経費が削減されている。リーディングプロジェクトに関して述べると本当に必要なのか否なのか、今税金を投入してまで行うべきなのかをきっちり精査すべきである。お茶会やスマホ教室などは参加費をきちんと徴収し、人件費及び事業費が赤字にならないようすべきではないか。文化振興などは、ただ事業を実施するのではなく、ウィズコロナ時代に合った新たな形

を模索するべき。

- ・京都市予算が大変厳しいことや、コロナの状況等も十分に見極めて事業実施をすべきではないか。場合によってはできない事業もあると思うのですが。
- ・茶会などのイベントは、コロナ禍及び市の財政状況の中では難しいのではないか。
- ・税金を投入してまでお茶会を開催する必要性が感じられないし、人件費も無駄。財政再生団体になると不安を煽る一方でこのようなイベントを盛大に行うことについて疑問を感じる。また、このようなイベントは準備も含めて費用や人件費がかかる割に、当日参加者しか文化体験できないなど広く区民に広がらないし、一過性のもので終わると思うのでイベントは反対。寧ろ、地域の人を中心に茶道教室を開いて、作法等を若い世代にも広めていくのはどうでしょうか。
- ・大茶会についてはコロナの状況が見通せない中で、これまでのような形で実施ができるのかが心配である。
- ・上京区には緑が少ない。今後、温暖化が進めば食糧危機がくると言われている。その時に少しでも作物を育てる場所の確保と、今は緑を増やすために、空き家の跡地に緑を植えるなどして欲しい。そうすれば、固定資産税免除などのメリットをつけて。
- ・上京区空き家が多いです、転入者が少ないのは子育て支援が少ないからです。明石市のように子育て支援をお願いします。

など

その他（計画全般に関して）

A 計画（案）に反映，検討の参考とする御意見（9件）

御意見の要旨	御意見に関する考え方
<p>【PCDAサイクル：1件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「2011年から二期にわたって上京区基本計画を策定し，取組を推進してきた」とあるにもかかわらず，その成果及び評価に基づいた議題の記述が見当たらない。計画の政策評価に「PDCAサイクル」の視点が必要ではないか。 	<p>いただいた御意見の趣旨を踏まえ，「PCDAサイクルに基づく進捗」の文言を追記，修正します。</p>
<p>【読みやすさ，デザイン：8件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体を通して，すごく読みやすい内容の基本計画だったと思う。イラストや写真，グラフを活用して，一般市民でも読みやすい計画書を作るべきだと思った。 ・色合いが良い！統一感があって見やすい。写真が少ない。全体的に文字が多い。 ・写真をもっと増やして見やすくすべきだと思う。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>いただいた御意見の趣旨を踏まえ，写真の追加等，できる限りわかりやすいデザインや工夫を検討します。</p>

B 計画（案）に賛同，趣旨が反映されている御意見（47件）

御意見の要旨	御意見に関する考え方
<p>【計画全体の方向性等：22件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人に気を配り，細かく考えられた計画に感動しました。上京区に暮らす人々に，こんなにたくさん取組がされているのだと伝われば，これを悪く思う人はいないと思うし嬉しく感じると思います。この冊子を多くの方が手に取り，読んで，知ることが重要だと感じます。 ・計画全体として細部まで考えられておりとても良いと感じた。 ・どの取組をとっても上京区の未来を形作る重要なものである所以目標が満足に達成されるように邁進してほしいと思うし，私自身も一区民として主体性をもって積極的に取組に協力するように心がけようという気持ちの醸成につながるものであった。 ・上京区は独特の特徴を多数持っている所以，地域活性化のアイデアが多岐にわたるので，区民も積極的に参加して政策を打ち出してほしいなと思います。 ・計画全般に関しても，年代，国籍に関わらず上京区に住み，訪れる人々全員を巻き込んで盛りあげようとしている姿勢が伝わってきて，すごく良いと思う。これからももっと学生も巻き込んで，意見を吸い上げてやっていって欲しい。 ・若者と高齢者に対して，偏りがなく公正に扱ってもらえているんだと分 	<p>計画全体の方向性等について賛同，評価する御意見を数多くいただきました。</p>

<p>かり、嬉しかった。どの計画にもおもしろい、やってみたいという感情が芽生えた。今の段階では、私は上京区で暮らしていきたいと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上京区の歴史や伝統は壊さず保ちながらも、どうすれば永続的に発展できるかという考えの詰まったものであると感じた。上京区に住む学生として、少しでも多くのことにかかわりたい。 ・全ての将来像が非常に重要であり、上京区をより良くしていくためには必要不可欠な要素を含んでいると思う。自分も上京区の成長に貢献するため、何かできることを見つけて実践していきたいと感じた。取組の具体案の中には実現がそれほど困難ではないものも含まれていたため、積極的に府や市の規模で実践してほしいと思う。 ・計画の主体は全ての区民であり、一人も取り残さないという点が計画全般に共通していた。自分が住む地域の活動に参加することで地域を良くしようという責任感が生まれるので、上京区の向上につながると思う。 <p style="text-align: right;">など</p>	
<p>【計画全体のわかりやすさ：19件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフスタイルに応じて、テーマごとに課題等が分析されているため、理解しやすい。 ・全体的に非常に見やすく何を目標としていてどのように解決するのかを明確に判断できた資料だった。 ・全体的に、とても見やすいパンフレットであると感じた。 ・どの世代にも暮らしやすさを追求し、どの案にも具体性があったととても良い計画だと思った。 ・上京区は、さまざまな面から考察し取り組んでいることが十分に感じることができました。現在では、新型コロナウイルス感染症に関連したことに取り組むことが、地域のどの住民にとって最も必要なことなのではないかと思います。 ・自分では考えがつかないプロジェクトが沢山あり、上京区ではより良いまちにするために様々な工夫をしていることに気づけた。 ・はじめてこうした意見提出をしましたが、基本計画を読むまではこうした具体的な取組があることを知らなかったため、私たち住民のために行政の方々がこんなにも考えてくださっていて、感謝したいと思いました。自分たちのまちのさらなる改善のためにも、このような意見提出を積極的に行っていきたいと考えました。 ・上京区には、古くからの良い伝統文化などが、多く残されている事が改めて分かった。今日、新しい時代への変化に合わせた変革が求められている。そこで、伝統文化、施設と新たな文化が共存できるようまちづくりができれば、多くの人から注目を集めることができより良い街へとつ 	<p>計画全体のわかりやすさについて賛同、評価する御意見を数多くいただきました。</p>

<p>ながっていくのだと感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上京区の長い歴史の中で培われてきた強みを生かしつつ、現状を分析した上で、課題を明確にし、それらに対処して、より良い持続可能なまちづくりをしていくためのビジョンや具体的な施策が挙げられており、上京区の更なる発展に期待を持つことができました。 <p style="text-align: right;">など</p>	
<p>【取組の方向性：3件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境への取組と、安心安全への取組は、特に実体験を通して素敵であると感じました。若者が多く集まるからこそ、上京区に更なる活性化があると嬉しいです。 ・企業や学生との連携が上京区のまちづくりを進展させる鍵になっているのではないかと思う。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>取組の方向性について賛同、評価する御意見を数多くいただきました。</p>
<p>【かみぎゅうくん：3件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かみぎゅうくんのガイドは分かりやすく良かった。 ・全体としてはかみぎゅう君を使った親しみやすい冊子になっていると思う。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>かみぎゅう君やイラストを活用して、分かりやすく、親しみやすい計画策定に努めます。</p>

C 今後の計画推進の際に参考とする御意見等（19件）

御意見の要旨	御意見に関する考え方
<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に上京区には地域に住む大学生との交流が必要であると思う。若者の行動力や発想力を借りることで、上京区が活性化することに繋がると思う。いかにして、学生を地域のイベントや活動に参加させるかが課題になると思う。 ・まちづくりにおいて大学生が参加できる計画などがより多くあれば、まちの発展に大きくつながると思います。ぜひともそのような活動に参加させていただきたいので、私たちが参加できるイベントなどをたくさん発信して下さると嬉しいです。 ・若者や大学生に向けた取組や施策が多いように感じたが、若者や大学生はコロナ禍で交流がオンライン化しているため、オンライン化した方が参加しやすいのではないかと思った。 ・やはり人口減少、高齢化が進む中で学生街に住む学生をどれだけ京都にとどませるかが重要だと思った。 ・上京区は学生が多いので、もっと学生主体で政策や施策を考えてさせて実行していけばもっともって街に活気が溢れ、賑わい、明るい上京区になると考える。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>学生や若者が参加するまちづくりについての御意見を参考に計画推進に努めます。</p>

<ul style="list-style-type: none"> 各課題の解決のため達成すべきニーズは重なるところが多くあると思います。それらを結び付け、それを支える取組を区が多く担っていただきたいと思います。 これからのまちづくりはただ地域の活性化や地域住民への配慮を考えるだけでなく、環境への配慮や持続可能性を踏まえた取組を考える必要があると考える。これまでのまちづくりとは違った視点が求められると思う。 すべてを通して地場産業の活性化が必要。職住近接で経済的に豊かに暮らせたなら、人口が増え希望のもてる社会になる。 取り組んだ結果をよりおおくの住民が認識できる機会を増やすことで、意見が集まりより良い政策形成ができると思います。 <p style="text-align: right;">など</p>	<p>いただいた御意見の趣旨も参考に計画推進に努めます。</p>
--	----------------------------------

D 市政運営等の参考とする御意見、その他（57件）

御意見の要旨
<ul style="list-style-type: none"> ホームページの更なる充実と改善により、的確な情報発信をしてほしい。 概ねよくわかる計画だと思うが、計画期間が5年というのは短いと思います。 確かに計画自体はどれも素晴らしかったが、予算などの面から、本当に全て実現できるのだろうかという疑問が生じた。 今回、上京区基本計画の資料を読み、上京区が様々な具体的な取組を企画、実践していることを初めて知った。しかし私のように知らない人も多くいるはずである。前にも述べた通り今度は「知らせる」ことが大事になってくるのではないかと思った。様々なツールを使い多くの人々の目に入るようにすれば、上京区の将来について考えたり、参画する人が増えると私は考える。 将来像1～4やリーディングプロジェクトは、全体として上手くまとめられていると思いますが、気になるのは新型コロナウイルス感染症のことで。新型コロナウイルスの問題は上京区だけの問題ではなく、京都市の問題でもない大変大きな問題ですが、基本計画を推進していく上での拠りどころとなる地域コミュニティや自治会活動にも多大な影響を及ぼしていると聞いています。 地球温暖化対策にもっと力を入れて欲しい。日本人は環境問題への意識が薄く、危機感もない。なので、強制力をもってCO2削減を目指して欲しい。例えば、レジ袋廃止、リユース容器導入（飲食店や祭りなど）自動販売機でのペットボトル廃止、アイドリングストップをしていない車の罰則、店内飲食での使い捨ての禁止など、自治体として条例を制定し、エコに取り組んで欲しい。 子ども文化会館、京都社会福祉会館など集会所がなくなり、集まる場所がありません。上京区で集まれる場所を作って、一人ぼっちをなくして下さい。 <p style="text-align: right;">など</p>